



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月24日

上場取引所 東

上場会社名 伊勢化学工業株式会社

コード番号 4107 URL <http://www.isechem.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役兼社長執行役員

(氏名) 藤野 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼管理本部長

(氏名) 小林 正昭

TEL 03-3242-0520

四半期報告書提出予定日 平成27年8月12日

配当支払開始予定日

平成27年9月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績(平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	9,205	10.3	1,233	△28.3	1,240	△28.2	766	△25.2
26年12月期第2四半期	8,344	8.7	1,719	2.1	1,727	1.4	1,024	△1.2

(注)包括利益 27年12月期第2四半期 831百万円 (△8.7%) 26年12月期第2四半期 911百万円 (△32.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	30.02	—
26年12月期第2四半期	40.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	29,129	23,694	81.3
26年12月期	28,829	23,095	80.1

(参考)自己資本 27年12月期第2四半期 23,694百万円 26年12月期 23,095百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	9.00	—	9.00	18.00
27年12月期	—	9.00	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	9.00	18.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想(平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	5.3	2,700	△22.9	2,700	△23.3	1,700	△21.0	66.61

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年12月期2Q	25,675,675 株	26年12月期	25,675,675 株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	155,458 株	26年12月期	151,726 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年12月期2Q	25,522,270 株	26年12月期2Q	25,529,591 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2015年1月1日～2015年6月30日）の当社グループをとり巻く環境は、国内では緩やかな景気回復基調にあり、米国経済は景気拡大の維持が期待される一方で、欧州での債務問題による懸念や、新興国経済の成長の鈍化が予想され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況におきまして、当社グループの業績内容は、積極的な国内外の事業展開の実施に伴い、主力のヨウ素製品の販売が増加しました。また、金属化合物事業につきましても各般にわたり積極的な活動を展開しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は92億5百万円（前年同期比10.3%増）、営業利益は12億3千3百万円（前年同期比28.3%減）、経常利益は12億4千万円（前年同期比28.2%減）、四半期純利益は7億6千6百万円（前年同期比25.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[ヨウ素及び天然ガス事業]

ヨウ素及び天然ガス事業では、主力のヨウ素製品の堅調な販売に伴い、売上高は前年同期を上回りました。営業利益は、出荷量の増加があったものの、販売価格の下落、新規設備投資に伴う減価償却費の増加等により前年同期を下回る水準となりました。

この結果、売上高は82億5千6百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は15億8千3百万円（前年同期比25.3%減）となりました。

[金属化合物事業]

金属化合物事業では、出荷量の増加等により売上高は前年同期を上回る水準となり、損益面では各種施策により改善しました。

この結果、売上高は9億4千8百万円（前年同期比20.2%増）、営業利益は2千7百万円（前年同期は営業損失4千4百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して3億円増加の291億2千9百万円となりました。これは主に、短期貸付金、有形固定資産が増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比較して2億9千9百万円減少の54億3千4百万円となりました。これは主に、未払金、未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比較して5億9千9百万円増加の236億9千4百万円となりました。これは主に、配当金の支払があったものの、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末残高に比べ5億1千9百万円増加し、72億8千3百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動により得られた資金は、18億2千8百万円（前年同期は7億5千1百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益及び減価償却費の計上等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動により使用した資金は、10億9千万円（前年同期は17億1千万円）となりました。これは主に、ヨウ素及び天然ガス事業の設備投資に伴う支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動により使用した資金は、2億3千8百万円（前年同期は2億3千7百万円）となりました。これは主に、配当金の支払等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期第2四半期連結累計期間の業績は、主力のヨウ素製品の販売において、販売数量が当初想定を下回ったこと等により、売上高及び利益は当初予想を下回る結果となりました。

その影響を受け、通期の連結業績予想につきまして、当初予想を下回り、売上高は190億円(当初予想比変更なし)、営業利益は27億円(当初予想比3億円(10.0%)減)、経常利益は27億円(当初予想比3億円(10.0%)減)、当期純利益は17億円(当初予想比2億円(10.5%)減)を見込んでおります。

本日、連結及び個別ともに業績予想を修正し、「平成27年12月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」を開示いたしましたのでご参照ください。

なお、当該業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、需要動向の変化等多分に不確定な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は種々の要素により現時点での予想と乖離する可能性がありますのでご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

原価差異の繰延処理

定期的な修繕が特定の四半期に行われるために発生する原価差異は、予定原価が年間を基礎に設定されており、原価計算期間末までに解消が見込まれるため、当該原価差異を流動負債として繰り延べております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 2012年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 2012年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用しております。

なお、当第2四半期連結財務諸表への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,033	2,048
受取手形及び売掛金	5,549	5,316
商品及び製品	2,551	2,583
仕掛品	349	324
原材料及び貯蔵品	1,033	852
短期貸付金	4,730	5,234
その他	244	320
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	16,489	16,678
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,598	3,501
機械装置及び運搬具(純額)	4,707	4,870
土地	1,522	1,694
建設仮勘定	643	592
その他(純額)	274	272
有形固定資産合計	10,747	10,931
無形固定資産		
その他	427	403
無形固定資産合計	427	403
投資その他の資産		
繰延税金資産	262	214
その他	902	901
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,164	1,115
固定資産合計	12,340	12,451
資産合計	28,829	29,129

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2014年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2015年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,603	1,569
短期借入金	600	600
未払金	1,110	874
未払法人税等	695	517
賞与引当金	144	138
役員賞与引当金	13	6
その他	422	629
流動負債合計	4,590	4,336
固定負債		
役員退職慰労引当金	52	28
退職給付に係る負債	743	719
資産除去債務	169	174
その他	177	176
固定負債合計	1,143	1,098
負債合計	5,734	5,434
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,599	3,599
資本剰余金	3,931	3,931
利益剰余金	15,553	16,090
自己株式	△102	△105
株主資本合計	22,982	23,516
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	15
為替換算調整勘定	182	235
退職給付に係る調整累計額	△74	△72
その他の包括利益累計額合計	112	178
純資産合計	23,095	23,694
負債純資産合計	28,829	29,129

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)
売上高	8,344	9,205
売上原価	5,947	7,228
売上総利益	2,397	1,976
販売費及び一般管理費	678	743
営業利益	1,719	1,233
営業外収益		
受取利息	5	6
受取配当金	0	0
受取手数料	2	3
受取分配金	4	—
その他	1	1
営業外収益合計	14	11
営業外費用		
支払利息	1	0
持分法による投資損失	3	1
為替差損	1	1
営業外費用合計	6	3
経常利益	1,727	1,240
特別損失		
固定資産除却損	8	7
特別損失合計	8	7
税金等調整前四半期純利益	1,718	1,233
法人税、住民税及び事業税	809	512
法人税等調整額	△115	△45
法人税等合計	693	466
少数株主損益調整前四半期純利益	1,024	766
四半期純利益	1,024	766

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,024	766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	10
為替換算調整勘定	△110	53
退職給付に係る調整額	—	1
その他の包括利益合計	△113	65
四半期包括利益	911	831
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	911	831
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2014年1月1日 至 2014年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,718	1,233
減価償却費	621	831
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	37	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	△25
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△5
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6	△6
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4	△24
受取利息及び受取配当金	△6	△7
支払利息	1	0
持分法による投資損益 (△は益)	3	1
固定資産除却損	8	7
売上債権の増減額 (△は増加)	△745	242
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△545	180
仕入債務の増減額 (△は減少)	344	△140
その他	35	154
小計	1,470	2,441
利息及び配当金の受取額	6	7
利息の支払額	△1	△0
法人税等の支払額	△780	△672
法人税等の還付額	56	52
営業活動によるキャッシュ・フロー	751	1,828
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△600	—
有形固定資産の取得による支出	△1,067	△1,083
無形固定資産の取得による支出	△32	△2
その他	△10	△5
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,710	△1,090
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△229	△229
その他	△8	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△237	△238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46	20
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,244	519
現金及び現金同等物の期首残高	7,679	6,763
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,435	7,283

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自2014年1月1日至2014年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,555	789	8,344	—	8,344
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	7,555	789	8,344	(—)	8,344
セグメント利益又は損失(△)	2,119	△44	2,074	△355	1,719

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△355百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2015年1月1日至2015年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	ヨウ素及び 天然ガス事業	金属化合物 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,256	948	9,205	—	9,205
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	(—)	—
計	8,256	948	9,205	(—)	9,205
セグメント利益	1,583	27	1,611	△377	1,233

(注) 1 セグメント利益の調整額△377百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。なお、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。